施策•基本事業評価表

作成日 平成 24 年 22 日 6 月

_			-
基本目標No.	4	基本目標名	人と文化を育むまち
施策No.	32	施策名	人権が尊重される社会の推進
主管課名	地域協働調	果主管課長名	江幡遂守
関係課名	全ての課	等	
	・性別による	固定的な役割の	寺って個人が生きることのできる社会となっています。 分担の意識をなくし、個性と能力が発揮される社会となっています。 暮らしやすい環境が整い、多文化共生社会が実現しています。
施策の成果 向上に住民と 行政とのとの担め 割分への期 特など	中 民 ・	男女共同参画の 外国人が暮らし 小中学生への人 全庁を通じて各 市民に対して男	理解し、一人ひとりの人権を尊重します。 り目的を理解し、実践します。 やすい地域社会になるよう協力します。 権啓発活動や、DVに対する相談等の支援を行います。 課等の所掌事務の執行や、公的な場で率先して男女共同参画の実践に取り組みます。 女共同参画の意識啓発を行います。 いらしやすい環境を整えるとともに、日本語を教える日本語ボランティアの養成を支援します。

施策の成果 達成にあ たっての現 状と課題

すべての人々の人権尊重を基盤として、男女の性別や国籍、障がいなどによる差別のない社会を構築することが、重要な課題となってい

すっていた。 ます。 いまだに性別による固定的な役割分担意識が根強く残っており、家庭、学校、職場、地域社会など、あらゆる場面で男女共同参画社会の 実現に向けた啓発が必要です。 地域では、市民と在住外国人との積極的な交流が少ないなどの課題があり、市民と外国人がともに暮らしやすい社会が望まれています。

施策No.	32	施策名	人権が尊重される社会の推進
-------	----	-----	---------------

	11. 1 1. 1. 1. 0	主 ₩中华/光朝中华/									
	基本事業名①	事業内容(活動内容)									
	人権の尊重及び啓発	人権が尊重され、尊厳を持って個人が生きることのできる社会の実現に向けた教育や啓発活動などの人権擁護 事業を推進します。人権やDV(ドメスティック・バイオレンス)などに関する市民相談体制を充実します。									
	①に属する代表的な事務事業				事	業内容(活動	助内容)				
	人権啓発事業	人権擁護委員・保護司と連携し、社会を明るくする運動等をはじめとした事業を展開し、人権を啓発します。									
	人権相談事業(人権擁護委員)	人権やDV(ドメスティック・バイオレンス)などの市民相談体制を充実させます。									
	非核平和事業	核兵器を廃絶し、世界の恒久平和の実現のため、非核平和都市を宣言し、住民啓発を行います。									
	子どもの権利推進事業	子どもの権利について市民の理解を深め、子どもの権利の尊重と保障を推進します。									
	基本事業①の目的 【意図】	誰もが人権を尊重され、平和に暮らせる社会となっています。									
	DE INTE))/ /II	21年度			目標値(上	段)及び実績	漬値(下段)			
	成果指標名	単位	実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)	
	人権を尊重し、お互いの個性と能			20.0	21.0	22.0	23.0	24.0			
	力が発揮されてきていると感じる 市民の割合	%	19.9	19.9	21.7				25.0	30.0	
	THE STATE OF THE S										
	基本事業名②	1 1.1 3	m u s			美内容(活動					
	男女共同参画の環境づく			宝、子育て・							
	Ŋ	か各い	も貝仕も分	かち合い、個				共미参凹杠	云をつくりる	K 9 o	
	②に属する代表的な事務事業 男女共同参画プラン(YOU&					業内容(活動					
	爱2006)推進事業	YOU&	:愛2006プラン	ンに関連指標	₹を設定し、i	進捗状況を打	2握し総括し	ます。			
	男女共同参画地域推進員、	市民委	員会委員や見	男女共同参画	「地域推進員	による男女	共同参画の打	推進と啓発を	行います。		
	出会い・ふれ愛イベント事業	人と人と	の出会いや	交流を通して	、独身男女の	の理想の相手	手探しのきっ	かけ作りを行	います。		
	基本事業②の目的										
	【意図】	一人ひる	とりがその能力	力や個性を十	一分に発揮し	、喜びも責任	Eも分かち合	5男女共同参	き画社会が実	現します。	
	中田 松蕪 A	単位	21年度			目標値(上	段)及び実	漬値(下段)			
	成果指標名	早11.	実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)	
	魚津市審議会等への女性の	0/	00.0	30.0	31.0	32.0	33.0	34.0			
施策の成果	参加率	%	29.0	28.4	29.7				35.0	40.0	
虚成にあ											
たって優先											
的に取り組 かべき主な	基本事業名③	+ D H	戸129日 ,	古こりのよ		紫内容(活動) z H +>===1	::\:::\::\::\::\::\::\::\::\::\::\::\::	+. ≠.+1	
取組み	多文化共生社会の推進		住外国人が日々暮らしやすい生活環境を整えます。そのために日本語ボランティアを育成し、 常生活で使う日本語や生活習慣を学ぶことにより、地域対応力を高めます。								
以和か		日常生	活で使り出	本語や生活	習慣を学る	ぶことにより、	地域対応:	力を高めまっ	+ .		
	③に属する代表的か事務事業	日常生	活で使り日	本語や生活				力を高めまっ	す。		
	③に属する代表的な事務事業 生活ガイドブック作成事業				事	業内容(活動	协内容)				
	生活ガイドブック作成事業	日本語	ボランティアを	と育成すると	事実もに、日本語	業内容(活動 語ボランティ)	助内容) アが在住外国	国人に日本語	を教えます。		
		日本語	ボランティアを		事実もに、日本語	業内容(活動 語ボランティ)	助内容) アが在住外国	国人に日本語	を教えます。		
	生活ガイドブック作成事業	日本語	ボランティアを	と育成すると	事実もに、日本語	業内容(活動 語ボランティ)	助内容) アが在住外国	国人に日本語	を教えます。		
	生活ガイドブック作成事業日本語ボランティア事業	日本語	ボランティアを	と育成すると	事実もに、日本語	業内容(活動 語ボランティ)	助内容) アが在住外国	国人に日本語	を教えます。		
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 基本事業③の目的	日本語注在住外	ボランティアを 国人の住み	と育成すると	事う さもに、日本記 着づくりのた	業内容(活動語ボランティ) めに多言語	動内容) アが在住外国 野の生活ガン	国人に日本語 イドブックをイ	を教えます。		
	生活ガイドブック作成事業日本語ボランティア事業	日本語注在住外	ボランティアを 国人の住み 生住外国人	を育成するととなってい環境	事う さもに、日本記 着づくりのた	業内容(活動 語ボランティン めに多言語	助内容) アが在住外間 唇の生活ガイ 多文化共生	国人に日本語 イドブックをイ	を教えます。		
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 基本事業③の目的	日本語注在住外	ボランティアを 国人の住み 生住外国人 21年度	を育成するととなってい環境 なやすい環境 が共に暮ら	事 もに、日本に きづくりのた しやすい環	業内容(活動 語ボランテイ めに多言語 境が整い、 目標値(上	助内容) アが在住外間 日の生活ガッ 多文化共生 段)及び実	国人に日本語 バドブックをイ ドイン・クタイト に社会が実現 遺値(下段)	を教えます。 作成します。 見しています 27年度	ナ。 32年度	
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 	日本語2 在住外市民と	ボランティアを 国人の住み 生住外国人	を育成するととないですい環境が共に暮ら 22年度	事美 されて、日本に でいるのた しやすい環 23年度	業内容(活動器ボランティ) めに多言語 地境が整い、 目標値(上 24年度	助内容) アが在住外 野の生活ガー 多文化共生 段)及び実 25年度	国人に日本語 バドブックをイ に社会が実 す値(下段) 26年度	を教えます。	r.	
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 	日本語2 在住外市民と	ボランティアを 国人の住み 生住外国人 21年度	を育成するとと なやすい環境 が共に暮ら 22年度	事美 されて、日本記 さづくりのた しやすい環 23年度 16	業内容(活動器ボランティ) めに多言語 地境が整い、 目標値(上 24年度	助内容) アが在住外 野の生活ガー 多文化共生 段)及び実 25年度	国人に日本語 バドブックをイ に社会が実 す値(下段) 26年度	を教えます。 作成します。 見しています 27年度	ナ。 32年度	
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 基本事業③の目的 【意図】 成果指標名 日本語ボランティア事業受講	日本語が 在住外 市民と 単位 人	ボランティアを 国人の住み 生住外国人 21年度 実績 15	を育成するとと なやすい環境 が共に暮ら 22年度 15 15	事美 されて、日本に でいるのた しやすい環 23年度	業内容(活動器ボランティ) めに多言語 地境が整い、 目標値(上 24年度	助内容) アが在住外 野の生活ガー 多文化共生 段)及び実 25年度	国人に日本語 イドブックを化 主社会が実 責値(下段) 26年度	を教えます。 作成します。 見しています 27年度 (中間目標値) 20	32年度 (是終目標館) 25	
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 基本事業③の目的 【意図】 成果指標名	日本語/ 在住外 市民と ¹ 単位	ボランティアを 国人の住み 生住外国人 21年度 実績	を育成するとと なやすい環境 が共に暮ら 22年度	事美 されて、日本記 きづくりのた しやすい環 23年度 16 17	業内容(活動 語ボランティ) めに多言語 地境が整い、 目標値(上 24年度 17	助内容) アが在住外 野の生活ガー 多文化共生 段)及び実 25年度 18	国人に日本語 バドブックをイ に社会が実 す値(下段) 26年度	を教えます。 作成します。 見しています 27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)	
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 基本事業③の目的 【意図】 成果指標名 日本語ボランティア事業受講	日本語が 在住外 市民と 単位 人	ボランティアを 国人の住み 生住外国人 21年度 実績 15	を育成するとと なやすい環境 が共に暮ら 22年度 15 15 9	事美され、日本記 でであった しやすい環 23年度 16 17 11 22	業内容(活動 語ボランティ) めに多言語 地境が整い、 目標値(上 24年度 17	助内容) アが在住外国 の生活ガー 多文化共生 段)及び実 25年度 18	国人に日本語 イドブックを化 主社会が実 責値(下段) 26年度	を教えます。 作成します。 見しています 27年度 (中間目標値) 20	32年度 (是終目標館) 25	
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 基本事業③の目的 【意図】 成果指標名 日本語ボランティア事業受講 日本語ボランティア指導者数	日本語が 在住外 市民と 単位 人	ボランティアを 国人の住み 生住外国人 21年度 実績 15	を育成するとと なやすい環境 が共に暮ら 22年度 15 15 9	事美され、日本記 でであった しやすい環 23年度 16 17 11 22	業内容(活動 語ボランティ) めに多言語 地境が整い、 目標値(上 24年度 17	助内容) アが在住外国 の生活ガー 多文化共生 段)及び実 25年度 18	国人に日本語 イドブックを化 主社会が実 責値(下段) 26年度	を教えます。 作成します。 見しています 27年度 (中間目標値) 20	32年度 (是終目標館) 25	
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 基本事業③の目的 【意図】 成果指標名 日本語ボランティア事業受講- 日本語ボランティア指導者数 基本事業名④	日本語が 在住外 市民と 単位 人	ボランティアを 国人の住み 生住外国人 21年度 実績 15	を育成するとと なやすい環境 が共に暮ら 22年度 15 15 9	事美さに、日本記 高づくりのた しやすい環 23年度 16 17 11 22 事業	業内容(活動語ボランティ) めに多言語 地境が整い、 目標値(上 24年度 17	助内容) アが在住外間 の生活ガー 多文化共生 段)及び実 25年度 18 13	国人に日本語 イドブックを化 主社会が実 責値(下段) 26年度	を教えます。 作成します。 見しています 27年度 (中間目標値) 20	32年度 (是終目標館) 25	
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 基本事業③の目的 【意図】 成果指標名 日本語ボランティア事業受講 日本語ボランティア指導者数	日本語が 在住外 市民と 単位 人	ボランティアを 国人の住み 生住外国人 21年度 実績 15	を育成するとと なやすい環境 が共に暮ら 22年度 15 15 9	事美さに、日本記 高づくりのた しやすい環 23年度 16 17 11 22 事業	業内容(活動 語ボランティ) めに多言語 地境が整い、 目標値(上 24年度 17	助内容) アが在住外間 の生活ガー 多文化共生 段)及び実 25年度 18 13	国人に日本語 イドブックを化 主社会が実 責値(下段) 26年度	を教えます。 作成します。 見しています 27年度 (中間目標値) 20	32年度 (是終目標館) 25	
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 基本事業③の目的 【意図】 成果指標名 日本語ボランティア事業受講- 日本語ボランティア指導者数 基本事業名④	日本語が 在住外 市民と 単位 人	ボランティアを 国人の住み 生住外国人 21年度 実績 15	を育成するとと なやすい環境 が共に暮ら 22年度 15 15 9	事美さに、日本記 高づくりのた しやすい環 23年度 16 17 11 22 事業	業内容(活動語ボランティ) めに多言語 地境が整い、 目標値(上 24年度 17	助内容) アが在住外間 の生活ガー 多文化共生 段)及び実 25年度 18 13	国人に日本語 イドブックを化 主社会が実 責値(下段) 26年度	を教えます。 作成します。 見しています 27年度 (中間目標値) 20	32年度 (是終目標館) 25	
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 基本事業③の目的 【意図】 成果指標名 日本語ボランティア事業受講- 日本語ボランティア指導者数 基本事業名④	日本語が 在住外 市民と 単位 人	ボランティアを 国人の住み 生住外国人 21年度 実績 15	を育成するとと なやすい環境 が共に暮ら 22年度 15 15 9	事美さに、日本記 高づくりのた しやすい環 23年度 16 17 11 22 事業	業内容(活動語ボランティ) めに多言語 地境が整い、 目標値(上 24年度 17	助内容) アが在住外間 の生活ガー 多文化共生 段)及び実 25年度 18 13	国人に日本語 イドブックを化 主社会が実 責値(下段) 26年度	を教えます。 作成します。 見しています 27年度 (中間目標値) 20	32年度 (是終目標館) 25	
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 基本事業③の目的 【意図】 成果指標名 日本語ボランティア事業受講- 日本語ボランティア指導者数 基本事業名④	日本語が 在住外 市民と 単位 人	ボランティアを 国人の住み 生住外国人 21年度 実績 15	を育成するとと なやすい環境 が共に暮ら 22年度 15 15 9	事美さに、日本記 高づくりのた しやすい環 23年度 16 17 11 22 事業	業内容(活動語ボランティ) めに多言語 地境が整い、 目標値(上 24年度 17	助内容) アが在住外間 野の生活ガー 多文化共生 段) 及び実 25年度 18 13	国人に日本語 イドブックを化 主社会が実 責値(下段) 26年度	を教えます。 作成します。 見しています 27年度 (中間目標値) 20	32年度 (是終目標館) 25	
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 基本事業③の目的 【意図】 成果指標名 日本語ボランティア事業受講- 日本語ボランティア指導者数 基本事業名④	日本語が 在住外 市民と 単位 人	ボランティアを 国人の住み 生住外国人 21年度 実績 15	を育成するとと なやすい環境 が共に暮ら 22年度 15 15 9	事美さに、日本記 高づくりのた しやすい環 23年度 16 17 11 22 事業	業内容(活動語ボランティ) めに多言語 地境が整い、 目標値(上 24年度 17	助内容) アが在住外間 野の生活ガー 多文化共生 段) 及び実 25年度 18 13	国人に日本語 イドブックを化 主社会が実 責値(下段) 26年度	を教えます。 作成します。 見しています 27年度 (中間目標値) 20	32年度 (是終目標館) 25	
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 基本事業③の目的 【意図】 成果指標名 日本語ボランティア事業受講・ 日本語ボランティア指導者数 基本事業名④	日本語が 在住外 市民と 単位 人	ボランティアを 国人の住み 生住外国人 21年度 実績 15	を育成するとと なやすい環境 が共に暮ら 22年度 15 15 9	事美さに、日本記 高づくりのた しやすい環 23年度 16 17 11 22 事業	業内容(活動語ボランティ) めに多言語 地境が整い、 目標値(上 24年度 17	助内容) アが在住外間 野の生活ガー 多文化共生 段) 及び実 25年度 18 13	国人に日本語 イドブックを化 主社会が実 責値(下段) 26年度	を教えます。 作成します。 見しています 27年度 (中間目標値) 20	32年度 (是終目標館) 25	
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 基本事業③の目的 【意図】 成果指標名 日本語ボランティア事業受講- 日本語ボランティア指導者数 基本事業名④	日本語が 在住外 市民と 単位 人	ボランティアを 国人の住み 生住外国人 21年度 実績 15	を育成するとと なやすい環境 が共に暮ら 22年度 15 15 9	事美さに、日本記 高づくりのた しやすい環 23年度 16 17 11 22 事業	業内容(活動語ボランティ) めに多言語 地境が整い、 目標値(上 24年度 17	助内容) アが在住外間 野の生活ガー 多文化共生 段) 及び実 25年度 18 13	国人に日本語 イドブックを化 主社会が実 責値(下段) 26年度	を教えます。 作成します。 見しています 27年度 (中間目標値) 20	32年度 (是終目標館) 25	
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 基本事業③の目的 【意図】 成果指標名 日本語ボランティア事業受講 日本語ボランティア指導者数 基本事業名④ ④に属する代表的な事務事業	日本語2 在住外市民と2 単位 人人	ボランティアを 国人の住み 生住外国人 21年度 実績 15 9	を育成するとと なやすい環境 が共に暮ら 22年度 15 15 9	事美さに、日本記 高づくりのた しやすい環 23年度 16 17 11 22 事業	業内容(活動語ボランティ) めに多言語 地境が整い、 目標値(上 24年度 17 12 案内容(活動	助内容) アが在住外間 野の生活ガー 多文化共生 段) 及び実 25年度 18 13	国人に日本語 (ドブックを化 主社会が実現 責値(下段) 26年度 19 14	を教えます。 作成します。 見しています 27年度 (中間目標値) 20	32年度 (是終目標館) 25	
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 基本事業③の目的 【意図】 成果指標名 日本語ボランティア事業受講・ 日本語ボランティア指導者数 基本事業名④ ④に属する代表的な事務事業	日本語が 在住外 市民と 単位 人	ボランティアを 国人の住み 生住外国人 21年度 実績 15	を育成するとと なやすい環境 が共に暮ら 22年度 15 15 9	事美さに、日本記 高づくりのた しやすい環 23年度 16 17 11 22 事業	業内容(活動語ボランティ) めに多言語 地境が整い、 目標値(上 24年度 17 12 案内容(活動	助内容) アが在住外間 の生活ガー 多文化共生 段)及び実 25年度 18 13 助内容)	国人に日本語 (ドブックを化 主社会が実現 責値(下段) 26年度 19 14	を教えます。 年成します。 見しています 27年度 (中間目標値) 20 15	32年度 (最終目標館) 25 20 32年度	
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 基本事業③の目的 【意図】 成果指標名 日本語ボランティア事業受講 日本語ボランティア指導者数 基本事業名④ ④に属する代表的な事務事業	日本語2 在住外市民と2 単位 人人	ボランティアを 国人の住み 全住外国人 21年度 実績 15 9	た育成するとと なやすい環境 が共に暮ら 22年度 15 15 9 9	事 きに、日本 きづくりのた しやすい環 23年度 16 17 11 22 事 事	業内容(活動語ボランティ) めに多言語 環値(上 24年度 17 12 業内容(活動 業内容(活動	m内容) アが在住外国 の生活ガー 多文化共生 段)及び実 25年度 18 13 m内容)	国人に日本語 (ドブックを化 主社会が実現 遺値(下段) 26年度 19 14	を教えます。 作成します。 見しています 27年度 (中間日標値) 20	32年度 (最終目標値) 25 20	
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 基本事業③の目的 【意図】 成果指標名 日本語ボランティア事業受講 日本語ボランティア指導者数 基本事業名④ ④に属する代表的な事務事業	日本語2 在住外市民と2 単位 人人	ボランティアを 国人の住み 全住外国人 21年度 実績 15 9	た育成するとと なやすい環境 が共に暮ら 22年度 15 15 9 9	事 きに、日本 きづくりのた しやすい環 23年度 16 17 11 22 事 事	業内容(活動語ボランティ) めに多言語 環値(上 24年度 17 12 業内容(活動 業内容(活動	m内容) アが在住外国 の生活ガー 多文化共生 段)及び実 25年度 18 13 m内容)	国人に日本語 (ドブックを化 主社会が実現 遺値(下段) 26年度 19 14	を教えます。 年成します。 見しています 27年度 (中間目標値) 20 15	32年度 (最終目標館) 25 20 32年度	
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 基本事業③の目的 【意図】 成果指標名 日本語ボランティア事業受講 日本語ボランティア指導者数 基本事業名④ ④に属する代表的な事務事業	日本語2 在住外市民と2 単位 人人	ボランティアを 国人の住み 全住外国人 21年度 実績 15 9	た育成するとと なやすい環境 が共に暮ら 22年度 15 15 9 9	事 きに、日本 きづくりのた しやすい環 23年度 16 17 11 22 事 事	業内容(活動語ボランティ) めに多言語 環値(上 24年度 17 12 業内容(活動 業内容(活動	m内容) アが在住外国 の生活ガー 多文化共生 段)及び実 25年度 18 13 m内容)	国人に日本語 (ドブックを化 主社会が実現 遺値(下段) 26年度 19 14	を教えます。 年成します。 見しています 27年度 (中間目標値) 20 15	32年度 (最終目標館) 25 20 32年度	
	生活ガイドブック作成事業 日本語ボランティア事業 基本事業③の目的 【意図】 成果指標名 日本語ボランティア事業受講 日本語ボランティア指導者数 基本事業名④ ④に属する代表的な事務事業	日本語2 在住外市民と2 単位 人人	ボランティアを 国人の住み 全住外国人 21年度 実績 15 9	た育成するとと なやすい環境 が共に暮ら 22年度 15 15 9 9	事 きに、日本 きづくりのた しやすい環 23年度 16 17 11 22 事 事	業内容(活動語ボランティ) めに多言語 環値(上 24年度 17 12 業内容(活動 業内容(活動	m内容) アが在住外国 の生活ガー 多文化共生 段)及び実 25年度 18 13 m内容)	国人に日本語 (ドブックを化 主社会が実現 遺値(下段) 26年度 19 14	を教えます。 年成します。 見しています 27年度 (中間目標値) 20 15	32年度 (最終目標館) 25 20 32年度	

施策名 施策No. 32 人権が尊重される社会の推進 1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること) ア 成果水準の推移(成果水準がこと数年どのように推移しているかを中心に記述)

人権の尊重及び啓発

ート調査からは、成果指標は平成23年度では目標達成率103.3%となりました。

男女共同参画の環境づくり

の女性の参加率は年度により上下するが、目標値までは至っていません。 多文化共生社会の推進

- 日本語ボランティアによる在住外国人への日本語指導は、指導者、受講者ともに増加しています。特に、指導者数は、最終目標値に達しています。
- イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述)
- 人権啓発活動についての他市との違いは特段ありません
- ・男女共同参画推進員の数は、1地区2人、市全体で26人と同じ水準です。男性は11人と42%を占めています。(黒部市28人、滑川市18
- ・出会いふれ愛事業を市直営で行っているのは、近隣では魚津市だけです。
- ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述)
- ・男女共同参画社会の実現に向けて意識・関心は高まっています
- ・在住外国人の日本語習得への需要が高くなっています。また、指導者としてのボランティア意識も高くなっています。
- 2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括

(ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取組み内容を中心に記述)

人権の尊重及び啓発

23年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 庸し記載)

- ・人権相談員、法務局と連携した啓発活動を行っているが、22年度においては、村木小学校で「人権の花」活動を行いまし
- :非核平和を推進するため、小学校で被爆体験記朗読会を実施しているほか、原爆被災写真パネル展や富山大空襲につい ての出前講座等を開催しています。

男女共同参画の環境づくり

- ・平成21年度から出会いふれ愛事業として、婚活事業を開始し、イベントの実施やメール登録者への情報提供を行いました。 ・男女共同参画推進アンケートを行うとともに、プランYOU&愛フ2006の関連指標を見直ししました。
- ・男女共同参画推進員が自ら企画、実施する講演会や寸劇などにより、住民への啓発を行いました。 多文化共生社会の推進
- ・魚津市で就労、結婚等で在住する外国人に、日本語ボランティアが日本語を教えるなど支援しています。
- ・日本語ボランティアの養成講座を開き、指導者の増員と既存ボランティアのレベルアップを図りました。
- 3. 施策の課題認識及び24年度の取り組み状況(予定)
 - (23年度末で残った課題、既に24年度に取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)

人権の尊重及び啓発

- ・小さいころからの差別のない社会構築に向けた教育が大切であり、小中学生に向けての人権啓発活動を推進します。 男女共同参画の環境づくり
- ·市、事業所、市民等が全体で取り組むことが重要です。市役所においても、各課においてYOU&愛2006プランの事業展開、指標 達成を図る必要があります
- 出会いふれ愛事業の予算が減額する中、今後の事業展開をどう行うか検討する必要があります。
- 男女共同参画推進員活動について、地域へ出向いての活動、啓発を検討していきます。

多文化共生社会の推進

- ・生活ガイドブックを作成し、在住外国人を支援していきます。 ・国際交流サロンを月1回開き、交流を図りながら、異文化の理解を深めるとともに、在住外国人のサポートをします。
- 日本語ボランティアの教室を「個人クラス」のほか新たに「グループクラス」を開設し、活性化していきます。

※施策の重要度※

部会評価 (協議結果) 今後の方針 及び課題等 について記 載)

- ・男女共同参画の環境づくりにおいては、市民・事業者・行政等が全体で取組むことが重要です。男女共同参画推進員 が実施するイベントを通じての啓発活動や各分野への働きかけなどにより、YOU&愛2006プランの事業展開・ 推進を図っていきます。また、市役所においても、YOU&愛2006プランの指標達成を図っていきます。 ・少子化対策からも出会いの場づくりは大切であり、民間等のイベントへの支援も検討していきます。
- ・日本語ボランティア教室を充実することにより、市民と在住外国人が共に暮らしやすい生活環境を整えます。

男女が性別にとらわれずその個性と能力を発揮できる社会の実現に向けて、市民・事業者・行政が一体となって取り組んで いけるよう働きかけていきます。

経営戦略会 議における 施策の課題 及び方針